聞かせくださ

60

ンル は 問 11 ません 皆ち 0) 声を お か

あ 木幡さんは、避難先の地域の人とも交流しながら、村の人とのつながりを 大切にされていると感じました。知人や友人と離ればなれになり、家族と さえも分散して生活する人が少なくない中、さまざまな苦労をしながら、つ ながりを絶やさないでこられたのだと思います。村の幼稚園の園外活動にも、 毎年ご協力をいただきありがとうございます。この5月に園児たちが植えた

人、まだ決めかねている人、それぞれの選択が尊重されます。そうした状況 の中でも村民がつながりを持ち支え合えるよう、イベントの開催や、交流の 支援などを、村も積極的に検討してまいります。

木幡 八男さん(比曽)

しばらくは避難先での生活を続けるつもりです

避難先の自宅の一角を、村の人の歌や踊りの教室

に使ってもらったり、借りている畑で村の幼稚園

サツマイモ、秋の収穫まで、また引き続きお世話になります。

児とサツマイモを育てたりしています。

齋藤 香織さん (大久保・外内)

避難指示解除は、帰村を強制するものではありません。早く戻る人、後か

ら帰村する人、当面2地域を行き来して暮らす人、そのまま避難先で暮らす

村社会福祉協議会の職員として村民の皆さんにお 世話になっています。「近くまで来たから」「顔見 に来たよ」と気軽にいつでも立ち寄って、お話を 聞かせていただけたらと思っています。

社会福祉協議会には、避難先においても、訪問活動、交流イベントにいっ そう力を尽くしていただき感謝申し上げます。また、知人や友人と離れて暮 らす避難先で、ふらりと立ち寄り村の人と行き会える場所はとても貴重です。 これからも温かな支援をよろしくお願いします。

村役場は7月から村の本庁舎にほとんどの機能を戻しますが、社会福祉協 議会は福島市飯野町に残ります。そして、村役場が引っ越しをした後、これ まで借りていた「いいの交流館」から飯野支所の建物へと移転する予定です。 社会福祉の充実のため、これからも連携・協力をしていければと考えます。

その個

ります

家の中ではもちろ

育児用品「い

昔はどこの家庭でも使わ

行政区

上飯樋

蕨平

草野

前田・八和木

二枚橋・須萱

小宮

宮内

長泥

比兽

された先進了か国(G7)

5月に仙台市で開催

た育児用品に「い

た「いづみ(飯詰)」から派生した きました。「いちこ」は、 ご飯

んや小さな子どもを入れて

お

安

孝

勝

健

テル子

トモイ

とし子

美

義

藤

野

石 川

藤

の目の届く所に置いて、

赤ちゃ

の田畑では、

など

やみ

年齢

88

85

62

65

88

89

79

78

57

深さは二尺(約0㎝)ほどの藁製品。今で言うと、「ク の保温用に使われ のと考えられています。ち ハン」と呼ばれる赤ちゃん用のかごや、 直径二尺五寸(約8㎝)、 ベビ

 ψ

やわらかい皮)を取り、 藁を束ねてとぐろのように巻き上げていく「いちこ」の製法は巻き藁細工と呼ばれて 方法で作られました。 クルのように、使われていたんですね。 なったものを使 ように巻き上げていく独特の 藁は、 水を打 まし って寝かせて、 -葉や周 ます 柔ら 0

穂たきを

切って二尺位にそろえ、

節が

使う前にたたき、

<

参考:飯舘村発行「飯舘村史 第3巻

民俗」

た付きのも

のも作られ

した。ご飯の保温用には、

ない

ように編んでい

きま

っぱた 炉辺でも使われた「いちこ」

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前 親の氏名 行政区 沙 來 ちゃん 好亮・沙耶香 比兽

たい泰 我 <ん 藤 裕二・久美子 関根・松塚

花井蒼汰<ん 淳・春奈 大久保·外内

すくすくと元気に育ってね

ひとのうごき

今 月 (前月比) ★男 3060人 (-6) ▲女 3133人 (-5) **酬**計 6193人 (-11)

世帯数 🏔 1846戸 (± 0)

◆◆◆ 人□動態 ◆◆◆

3人 9人 出生 0人 死亡 5人 (住民基本台帳人口)

4月1日~30日までの 転入

(4月21日から5月20日までに届け出のあったものを掲載)

ご冥福をお祈り申しあげます

の農地では、 業復興組合の立ち上 頃を迎えて 大変好評だったそうで 記者たちに振る舞わり チゴミルクで、 ちごランド」の夏いちご 提供された「い として播種され います▼荷物を背負 復興庁から依頼を 行政区ごとに進 イチゴムー 農地保全を行う プレスセンター 村内須萱地区 緑肥作 いたて 各国の スやイ ッド 物

だ見ぬ頂を目指す靴 ーと菜の花が見 ました(写